

あなたなら きっと できる！

# Yes、You Can

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 進路通信 第13号 平成31年2月22日発行

## PTA 施設見学会に行ってきました!!

IHI Realize your dreams

株式会社 博報堂DYアイ・オー

2月6日(水) 20名の保護者の方とIHI、博報堂DYアイ・オーの見学をしてきました。IHIに伺うと、会社入口の広々としたホール(本校の体育館より高い天井と広々とした空間でした。)に世界の最先端の会社であることを実感しました。会社概要、社内見学、人事課の方の話、本校卒業生からの話がありました。午後は博報堂DYアイ・オーの見学。人事課の方からの話と社内見学をさせて頂きました。

どちらの会社でも卒業までに身に付けておくこととして、①仕事をする上でのマナー(挨拶、連絡・報告・相談等)②日本語力(メールや筆談でやりとりする際等に使用する)そして、もしできるなら③パソコン(キーボード打ち等)に慣れておくことよとの話ができました。簡単に書いてしまいましたが、卒業生等の話から、やはり働く厳しさを実感し、乗り越えた方の話には説得力を感じました。

IHIでは、人事担当の方が話される時にUDトークによる文字変換が行われ、前面に文字で話の内容が映し出されていました。また、博報堂では、障害の有無に関係なく、また、様々な障害の方が一緒に働いているということで、互いを尊重し、歩み寄るコミュニケーションでやりとりがされていました。健聴者は手話を覚え、盲者は音声変換ソフトでパソコンに映し出したことを音にして聞き、そしてメールでやりとりしているのです。



今回、見学させて頂いたのは2社でしたが、働く環境は全く違い、筆談を中心にやりとりをする会社がある一方で手話でのやりとりが中心の会社もあります。一見、パソコンに向かって事務仕事をしているように見えても、資料を正確に打ち出す仕事もあれば、今ある資料に想像力を働かせて発展させる仕事もありました。児童生徒の皆さんには自分がどのような仕事をしたいのか? 合っているのか? 視野を広げて、様々な職種の仕事が目の前に広がっていることを知って欲しいと思いました。

(コーディネーター: 西野)

### 《UDトークとは…》

主に聴覚障害者とのコミュニケーションを、パソコンや携帯電話を使って行うためのソフトウェアです。現在は聴覚障害者対応だけではなく、外国人対応や議事録の作成、文字起こしなど幅広く活用されています。漢字にはルビ(ふりがな)がつくので、漢字を読むのが難しい子どもから大人まで、世代を選ばずに多目的に使えるコミュニケーションアプリです。

最近では多くの企業がこのアプリを導入し、コミュニケーションのユニバーサル化を広めています。聴覚障害のある社員は会話や会議などの音声を瞬時に文字で「見える化」することで情報を得ることができます。企業だけではなく自治体から大学に至るまで、様々な場所で導入されています。同じろう学校では、東京の葛飾ろう学校で導入され活用されています。

様々な情報保障機器を活用することで、聴覚障害のある人にとって暮らしやすい社会に向かって進んでいると感じます。

### 《特例子会社とは…》

障害者の雇用機会を増やし、障害者が安定して就労できるように特別の配慮をし、雇用する企業の子会社です。今回見学した博報堂DYアイ・オーは特例子会社です。

企業の本体で環境面や設備面で配慮が難しく障害者雇用を積極的に行えないという会社でも、特例子会社を設立することで障害者を雇うことができるようになります。そこでの雇用の機会が生まれることは障害側にとっては大きなメリットになります。

特例子会社ではない一般の企業でも、配慮をしてくださる企業もたくさんありますが、特例子会社では様々な障害のある方を雇用するための設備面での準備や環境調整を行っており、受け入れ体制が整っていることが多いです。例えば設備面ではバリアフリーが整っていたり、視覚・聴覚障害のある方のためにドアの開閉時に音や光で知らせる機能など様々な配慮が凝らされていたりします。仕事の面でのサポートではジョブコーチが在籍し、困った時に相談しやすい環境が整えられていたりしています。